

第4次福岡市食育推進計画(案) に関するご意見及び対応案

第2回検討部会での第4次福岡市食育推進計画(案)に関するご意見

	頁、項目など	ご意見、ご質問など	所管	対応(案)
1	P2 ③2行目 挿入	経済的環境の変化や経済格差、少子高齢化… 理由:子どもの貧困などの問題が食生活にも大きな影響があるため	健康増進課	ご意見のとおり、以下に変更。 「経済的環境の変化、少子高齢化の進展」→「経済的環境の変化や経済格差、少子高齢化の進展」
2	P3 第2次福岡市消費者教育推進計画(市民局) 追記	料理教室等を通して、郷土料理の伝統や文化の継承。 高齢者への食育の推進。(70歳以上の方に指導が必要)	市民局	食育は消費生活に関連する教育に含まれ、左記計画においては、食育は「福岡市食育推進計画」に基づき保健福祉局において実施されている。市民局が直接実施している事業ではないため、事務局たたき台とおりの記載とさせていただきます。
3	P5 基本目標(Ⅱ)	福岡でとれる食材を日々の食事に活かし、福岡の豊かな農林水産業を支えましょう。	健康増進課	基本目標については、様々な意味合いを包含する幅広い文言で構成したい。 日々の食事を通して、食は自然の恩恵の上に成り立ち、多くの人の努力によって支えられていることに感謝し、福岡の農林水産業を思う気持ちを育むことに繋がるよう、以下のように一部変更する。 「福岡の食材を通じ、食に関する関心と理解を深め、環境に配慮した食生活を送る市民を増やすための食育を推進します」→「福岡の食材を通じ、食に関する関心と理解を深め、食べ物や生産者への感謝の気持ちを大切に市民を増やすための食育を推進します」
4	P5 2(Ⅳ)	環境に優しい食べ物とは、具体的にどのような食べ物を指すのでしょうか?	健康増進課	「環境に優しい食べ物」とは、輸送距離が短い(温室効果ガスの削減に寄与)、過剰包装ではなくゴミが少ない、化学肥料・化学農薬の過剰投入ではない等の食品を想定している。
5	P,5 (Ⅳ)環境に優しい…	言葉が分かりにくいのもっとわかりやすい言葉にできないか?	健康増進課	上記および、食品ロス(料理を作りすぎたりして残る「食べ残し」、野菜の皮や茎など食べられるところまで捨ててしまう「過剰除去」、未開封のまま食べずに捨ててしまう「直接廃棄」、すぐに使う予定の食材はお店の食品棚の手前から取る「てまえどり」など)対策の双方を包含した表現として、以下に変更。 「環境に優しい食べ物を選び、もったいないをなくしましょう」→「環境に優しい食生活を送りましょう」
6	P5 下から4行目 P10 下から6行目 P26 表の中	もったいないをなくしましょう→食品ロスをなくしましょう 【「もったいない」をどうしても使いたいのであれば、事務局のよいように…】	健康増進課	
7	P8 下2行	農林漁業の活性化や食料需給の状況への理解を深め、持続可能な農林漁業を実現していくことにつながります。	農林水産局	農林漁業をはじめ、環境保全の観点も含めた意味を持たせた文言であることから、「持続可能な社会」としている。事務局たたき台とおりの記載とさせていただきます。
8	P9 下から9行目	ふくおかの食文化→福岡の食文化(上の箇所は福岡)	健康増進課	基本目標の一つとして、スローガンの様な要素をもつ一文なので、親しみを感じやすく、優しい印象を与える意図で、あえて「ふくおか」と、ひらがな表記にしている。事務局たたき台とおりの記載とさせていただきます。 その他、文中の「福岡」については、漢字表記とし、使い分けをしている。
9	P,9 食を楽しむ…	現時点では、コロナ禍において会食は自粛が呼びかけられている。いつ終息するか先の見えない状況の中で、ここの文章は?新しい生活様式に合わせた行動ではなく、従来通りでよいのか? また、8/15発行の市政だよりは一面に「あちら漬け」が掲載され、これまで認知度が低かったので作ってみようと思われた方も多いのでは?大変良かった。	健康増進課	新しい生活様式に合わせた行動については、P6_3 取り組みの視点_(Ⅲ)の文中に「感染症対策に留意した上で食を通じたコミュニケーションを図る方法の普及啓発…」を追記し、第4次計画全体における前提とする。 ご意見の箇所については、未だコロナの終息が見通せない中、短期的には地域等における共食を積極的に推進することは困難な状況であるものの、食育における「共食」の重要性については、5年間という計画期間を通し、本来のあるべき姿として、事務局たたき台とおりの記載をさせていただきます。

第2回検討部会での第4次福岡市食育推進計画(案)に関するご意見

	頁、項目など	ご意見、ご質問など	所管	対応(案)
10	P13・P14(7) 高齢期	高齢期は、フレイル予防の為の食生活改善が求められることから、フレイルという言葉をごどこかに入れてはどうでしょうか？フレイルという言葉になかなか馴染みがないのですが、最近いろいろな場でフレイル予防と言われているので…。	健康増進課	ご意見のとおり、以下に変更。 「低栄養予防」→「低栄養をはじめとするフレイル予防」
11	P22 (3) 行政の役割	6行目と7行目に図という言葉が重複していますが…。	健康増進課	7行目について、以下に変更。 「指導内容の充実を図ります」→「指導内容の充実に努めます」
12	P22 (3) 行政の役割 10行目挿入	さらに、栄養教諭等が中心となって児童生徒の食生活… 理由:栄養教諭の配置が進み、現実的に食育推進のリーダーとなっていることから	教育委員会	ご意見のとおり、栄養教諭等が食育推進の要であり、中核を担う存在であることから以下に変更。 「さらに、児童生徒の食生活」→「さらに、栄養教諭等が中心となって児童生徒の食生活」
13	P22 行政の役割 P26 その他	教育の現場(授業)の中で、日本の食糧事情農業の現状と将来について、教育する時間を増やす。	教育委員会	小学校5年生社会科の農業・水産業の学習や、中学校地理の学習では、食糧生産の課題や、これからの食産業の在り方について学習している。引き続き学習指導要領に沿って、日本の食糧事情や農業の現状と将来等に関する学習に取り組んでいく。事務局たたき台のとおりの記事とさせていただきます。
14	その他	スーパー等の事業者店頭で市内産が並ぶように協力を要請する取組も必要。	農林水産局	
15	その他	ふくおかさん家のうまかもんについては市政だよりに掲載されていたが、さらに福岡の朝のTV番組に取り上げてもらうなど多くの市民に周知してもらうための工夫が必要。	農林水産局	
16	その他	青年期の朝食欠食の問題ですが、第3次計画には入っていましたが、第4次計画には記入されていませんが、現在、「連続16時間の空腹時間」を作ることが大切等の本をかかれており、それを信じて朝食欠食している人もいます。朝食に触れてもいいのではないのでしょうか？	健康増進課	
17	その他	私は東区で長年公民館の運営に携わっていて、公民館独自で料理教室を開催したり、小・中PTA主催のバザーや夏祭りなどの前に地域ぐるみで食中毒予防講座を行い食育に関わってきました。 しかし、公民館の事業として食育推進計画の目標値等に取り組むまでには至っておりません。(他の館も同じだと思います) 個人的な意見になりますが、食育は全市民に関わる事なので、もっと公民館とも情報を共有し、たとえば公民館だより(学校給食のように)毎月の目標とかを掲げるとか？主催事業に取り上げるとか？すれば、もっと市民の関心度が高まり、目標の数値も多少よくなるのではないのでしょうか？ また、食生活推進員の皆様の活動には自治協議会の協力体制が絶大です。 食生活推進員の皆様は日頃から、地域住民に寄り添い、食育の普及のために貢献されています。しかしながら食生活推進員の皆様も高齢化が進み、後継者が少なくなっているのも現状です。 また、自治協の食育に対する対応も体制が整っているところもあるのですが、食生活推進員さえ不在の校区もあり、是非、各校区の自治協議会への働きかけをお願いしたいところです。 コロナ禍で書面会議はしかたありませんが、できれば他の方のご意見も伺いたいのので、感染対策を十分に、たまに対面会議も開催して頂ければと思います。	市民局	ご意見ありがとうございます。 各所管課において、事業実施の際の参考にさせていただきます。

第2回検討部会での第4次福岡市食育推進計画(案)(事務局たたき台)に関するご意見

	頁、項目など	ご意見、ご質問など	所管	対応(案)
18	その他	乳幼児期においては、発育が著しく食との出会い、食に関する体験の積み重ねが大切だと思う。規則正しい生活リズムの習慣化を身につける為にも新たな日常生活の中で家庭との連携がより一層必要だと思います。	子ども未来局	ご意見ありがとうございます。 各所管課において、事業実施の際の参考にさせていただきます。
19	その他	福岡県510万人のうち、約3分の1の160万人が福岡市に集中しています。この状況では市内産は市民の4%しか賅えません。しかしながら、県全体の農産物は、ほぼ県民の食を賅えます。農林漁業の衰退を止めるためには消費者の支える想いが不可欠です。	農林水産局	

関係局修正分

	頁、項目など	説明		変更案
1	P9 目指す姿変更	農林水産局として、農林漁業体験を増加させることを目的としていないことから、次期農林業総合計画の数値目標(福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う市民の割合)に合わせた表現へ変更する。	農林水産局	農林漁業体験をしたことがある →福岡市の農林水産業に対する理解を深める
2	P18 具体的な目標値の削除	農林水産局として、市内産を購入する市民の割合を数値化していないため、地産地消に関する目標は後掲の「ふくおかさん家のうまかもん」に関する目標に統合する。	農林水産局	■市内産の農林水産物を買うようにしている市民の割合 →削除
3	P20 具体的な目標値の変更	農林水産業体験は、生産者への感謝や食への理解を高める一手段であるため、目標から削除し、農林業総合計画と同じ目標に変更する。	農林水産局	■農林水産漁業を体験したことがある市民(世帯)の割合 →■福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う市民の割合